

# あおぞら

行方市社協だより

No.44 2017.3.1

— 発行者 —  
社会福祉法人  
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地  
☎ 0299 (36) 2020  
FAX 0299 (55) 4545  
URL <http://www.yokattanet.jp>



インスタントシニア体験 (詳細記事は p10)

P12  
善意銀行  
編集後記

P10-11  
トピックス  
お知らせ

P8-9  
災害ボランティアセンター  
設置訓練

P6-7  
福祉な声  
障がい者支援施設  
「ケアホームひなたぼっこ」

P5  
いきいき長寿者紹介  
土子 豊さん  
(行方市南在住)

P2-4  
赤い羽根共同募金報告  
歳末たすけあい運動  
災害義援金報告

目次

# 平成28年度 赤い羽根共同募金実績報告

## 募金運動にご協力ありがとうございました



本年度も赤い羽根共同募金運動に、多大なご協力をいただきありがとうございました。戸別募金をはじめ、各募金にご協力いただきました皆様方に心より厚く御礼申し上げます。

なお、皆様からの募金は、行方市社会福祉協議会において実施する地域福祉活動として、役立たせていただきます。

### 募金総額 4,671,198円



募金の種類	内 容	金 額
戸別募金	各世帯を対象に寄付をお願いする募金	4,146,000 円
街頭募金	スーパーの入り口等で寄付をお願いする募金	12,668 円
学校募金	児童・生徒の福祉教育の一環として実施される募金	317,666 円
職域募金	企業・官公庁等の職員に呼びかけて寄付をお願いする募金	58,397 円
イベント募金	様々なイベント参加者に寄付をお願いする募金	35,221 円
設置募金	企業等の窓口に募金箱を設置し、寄付をお願いする募金	92,316 円
その他	上記のどこにも当てはまらない募金	8,930 円

(平成29年2月15日現在)

### 【赤い羽根共同募金活動の様子】



学校募金 (玉造小学校)



イベント募金 (行方ふれあいまつり)



街頭募金 (ベイシア玉造店)

茨城県共同募金会行方市支会  
 問い合わせ先 行方市玉造甲403 行方市社会福祉協議会内  
 ☎ 0299 (36) 2020



# 歳末たすけあい運動事業報告



「歳末たすけあい運動」を、赤い羽根共同募金運動の一環として実施しました。この事業は、支援を必要としている方々（ひとり暮らし世帯、高齢者世帯、障がい者世帯）が地域で安心して新年を迎えていただくために、以下のような家事援助サービスを実施いたしました。

なお、事業を実施するにあたり、取りまとめを民生委員さんに、事業実施に関してはシルバー人材センターの皆さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。

## 家事援助サービス事業実施報告（227件）

草刈り・草抜き	45件	居間掃除	1件	窓ガラス掃除	46件
障子張り	72件	網戸張替え	43件	廃棄物処理	20件

## 【歳末たすけあい事業活動の様子】



## 平成28年度 災害義援金報告

この度、平成28年度災害義援金に際しまして、ご協力いただきありがとうございます。  
皆様からお寄せいただいた義援金は、茨城県共同募金会を通じて、被災地へ送金させていただきました。

### ◆災害義援金報告 (平成29年2月15日現在)

義援金受付 18件 募金箱設置 17箇所

#### 平成28年熊本地震義援金

総額 1,450,337円

#### 平成28年4月地震大分県被災者義援金

(9月30日にて募集受付終了)

総額 40,567円

#### 岩手県台風10号大雨等災害義援金

総額 31,830円

#### 平成28年鳥取県中部地震災害義援金

総額 62,939円



行方市商業協同組合様より



行方市商工会青年部様より

## 平成28年度 災害義援金ご協力のお願い

平成28年度災害義援金につきまして、引き続き皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。  
また、市内の企業等で募金箱設置にご協力いただける際は、下記へご連絡ください。

- 平成28年熊本地震義援金
- 岩手県台風10号大雨等災害義援金
- 平成28年鳥取県中部地震災害義援金
- 平成28年新潟県糸魚川市における大規模火災義援金

募集期間 平成29年3月31日(金)まで

### 【問合わせ先】

茨城県共同募金会 行方市支会

〒311-3512 茨城県行方市玉造甲403

社会福祉法人 行方市社会福祉協議会内

電話 0299-36-2020

# いっしょにいきいき長寿者紹介

## 土子 豊さん 95歳 (行方市南)



土子さんは、麻生地区の小高のご出身で、前号（平成28年12月1日発行）で、ご紹介した、茂木クラさんのお兄さんにあたります。茂木さんの取材時に、「実家には、私の兄が元気にしているから行ってみてください。」とご紹介いただき、今回お話を伺うことになりました。

土子さんは、下駄職人として勤め始め、戦中はラッパ手として戦争を経験し、戦後も下駄職人として勤められました。その後、結婚し、3人のお子さんにも恵まれました。奥様とともに勤められ、ご自身は70代後半まで勤めあげたそうです。「当時は、下駄の材料となる木の切り出しから加工まで、全てやっていたよ。私は体が小さかった

から、切り出した木を運ぶのが大変だった。職人をやっているときには、新聞にも載ったことがあるんだよ。」と当時のお話をされていました。

現在は、長女夫婦とお孫さんの4人で過ごされているそうです。

**日課は、庭と自宅前道路の清掃です。**

「落ち葉が多い季節は、大変だよ。風があるときには、1日に何度も掃除するようだよ。」と土子さん。そして、「私たちが、気が付く前に、父が掃除をしてくれるので、助かっています。」と娘さんから感謝の言葉。

普段は一人で散歩しますが、

お孫さんの都合によっては、一緒に出かけるそうです。「途中で、コーヒーを買って飲むんだけど、それが楽しみだよ。最近では、体調や天気を考えながら散歩しているよ。」そして娘さんからは「息子と一緒に歩くときには、4〜5kmぐらい散歩してくるみたいだよ。」と付け加えてお話しがありました。

**自分のことは自分で！**

土子さんは、「自分のことは自分でやる。子どもたちには迷惑をかけないようにしたいね。最近では、自分の体と相談しながら無理なくやっています。」と心にかけているそうです。娘さんからも、「おかずの準備は、

私がやるけど、ご飯の盛り付けや片づけは自分でやってもうっています。新聞もメガネなしで読めるし、お風呂も一人で入って、30分ぐらい入っているよ。」とそれに対して土子さんは「風呂、そんな長く入ってないだろう。」すると娘さんは、「いや、入ってるよ。」そんな親子の掛け合いがあり、娘さんたちとの仲のよさを垣間見ることができました。

最後に、「曾孫が成人式を迎えるか嫁に行くまでは、がんばりたい。」とこれからの目標を力強く語ってくれました。他にもここでは紹介しきれませんが、ご家族やご友人のことなど、土子さんの元気の秘訣を知ることができたインタビューとなりました。

これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。



土子豊さん

私たちの住む地域には、様々な福祉の施設があります。  
今回は、生活介護・共同生活介護のサービスを提供している、障がい者支援施設「ケアホーム ひなたぼっこ」の職員の方にお話を伺いました。

## 障がい者支援施設 ケアホーム ひなたぼっこ

生活介護事業・共同生活介護事業

〒311-3832 茨城県行方市麻生1171-1  
電話：0299-77-8080

インタビューコーナー

# 福祉な声

### 生活介護（通所）とは・・・

食事・入浴・排せつのお手伝い、レクリエーション、ご利用者やご家族に対する相談・助言などきめ細やかなサービスを提供していきます。

定員：30人 対象者：障害支援区分3以上

### 共同生活介護（ケアホーム）とは・・・

『共に生きる』を基本理念として、開放された地域の人たちと交流を図りながら、みんなで生活しています。

定員：9人 全個室 対象者：障害支援区分3以上

～ひなたぼっこパンフレットより～



障がい者施設のイベントに参加した事があり、興味があり、自分も役に立ちたいと思った。 職員Aさん

障がい者の方と交流したことがなく勉強のために。 職員Bさん

### この仕事を始めたきっかけは

以前から、障がい者施設に興味があり、近所の小学校の近くに、この施設ができたのがきっかけです。 職員Dさん

微力ながら社会に貢献しようと思って。 職員Cさん



かご編もやっています

自分がされて嫌な介護はしないこと。目に見える結果だけでなく、信頼等で応えてくれること。

職員Aさん

利用者様の事を第一に考え、笑顔で生活を送ってもらえるようにしています。利用者様から「楽しかった、ありがとう」との声が聞かれた時は、とっても嬉しくて、「頑張ろう!!」と思います。 職員Bさん

### 心がけていること、やりがいや魅力

1人ひとりに合わせたサポートをしていただけたら良いと思います。利用者さんが個人として当り前の幸せを享受できることを目指していきたいです。

職員Eさん

相手の立場になって考え、コミュニケーションを取り、相手の伝えたい事を理解する事を心がけています。 職員Dさん

利用者様の話を聞くようにし、同じ目線で接することです。奥深いです。

職員Cさん



各々レクリエーションを楽しみます

障がいのある方に対して、少しでもいいので、受け入れてもらいたいし、扉を開けておいて欲しいと思います。 職員Bさん

多くの人たちに障がいに対する知識を学んでもらい、やりがいのある仕事だと知ってほしいです。 職員Cさん

### 要望等がありますか。

地域に住む方と障がいのあるかたとの交流が増えるといいと思います。 職員Aさん

# センター設置訓練

ボランティア受付



11月22日(火)午前10時から行方市麻生運動場で、災害ボランティアセンター設置訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会を、行方市職員、市内福祉施設職員、他市町村社協職員など総勢68名参加のもと、茨城県社会福祉協議会と共催で行いました。

この訓練は、2016年3月に作成した『行方市災害ボランティアセンターマニュアル』にもとづき、設置場所の検証や大規模自然災害発生時に立ち上げる災害ボランティアセンターの役割を知ってもらうための訓練です。

**【災害想定】**茨城沖を震源とするマグニチュード8の地震が発生、行方市に於いては震度6弱を観測。発生当初、市内では、停電と断水が発生、市災害対策本部から社会福祉協議会に「災害ボランティアセンター」の設置要請があった。



今回の研修は、全国の災害ボランティアセンターの支援を行っている米澤智秀氏を講師に迎え、災害ボランティアセンターの役割や機能、過去に設置された災害ボランティアセンターの実態等についてご指導いただきました。

参加者は、ボランティア役、ボランティア受付班、オリエンテーション班、マッチング班、資材班、ニーズ受付班、総務班にそれぞれ役割分担して訓練を行いました。

## ◆ 訓練の様子 ◆



オリエンテーション班：  
初めて参加するボランティアへの諸注意説明



総務班：広報、会計、庶務、活動説明書の発行など



# 災害ボランティア

## ◆ 訓練の様子 ◆



マッチング班：要望とボランティアを結びつけ、活動内容、場所、注意事項等の説明

「訓練なので人数も少なかったので対応できたが、実際には大勢の方が来られる。本当に対応できるのか不安。」「登録用紙への記載方法も簡素化できないか。」の意見がありました。

**ボランティア  
受付班からは**

**ニーズ班  
からは**

「丁寧にニーズを聴き取ることが大事。」「すぐに来てほしいという方への返事の仕方が解らない。」の意見がありました。



米澤氏による講評及び説明



それぞれの質問に対しては、今回の講師である米澤智秀氏から答えていただき、すぐに来てほしいという方への返事は、「順番に調整していることを丁寧に説明して理解してもらうようにすることが大事。」と教えて頂きました。

訓練を行うことで様々な角度から考えることができた。自分が住む町ではどうなのか考えながら参加することができた。

**参加者の声**

実際に訓練を行うことにより、災害時の活動を実践的に学ぶことができた。マニュアルの中で不明瞭なことや、改善が必要なところを考えることができた。実際に災害が発生した際には混乱することが多いと思うが、訓練を行うことで、心構えやボランティアに対する理解を深められればと思う。

# 小学校で福祉体験を実施

## ★体験を通して福祉の心をはぐくみます★

11月17日（木）玉造小学校3年生がインスタントシニア体験（高齢者疑似体験）を、12月1日（木）麻生小学校4年生がインスタントシニア体験・車いす体験を、2月15日（水）麻生東小学校3年生がインスタントシニア体験を行いました。

児童たちは、手首・足首・膝に重りやサポーター、白内障体験用ゴーグル、耳栓をつけるなどし、階段の昇降や、字を書く等の体験をしました。

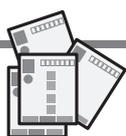
体験を終えると、「体が重くあまり動けなかったので、階段は大変だった。高齢者を見かけたときには手助けをしてあげたい。」と児童たちは話してくれました。

福祉体験は、高齢者や障がい者への正しい理解促進を目的とし、メニューは、アイマスク体験・車いす体験・インスタントシニア体験・手話体験・点字体験などがあります。お気軽に問合わせください。



体験の様子

問合わせ先 地域福祉係 0299-36-2020



## 身近なボランティア情報



### 書き損じ（未使用）ハガキの収集

郵便局で手数料を支払って新しいハガキや切手に交換し、これを協力者に引き取ってもらって福祉活動に役立てることができます。

### 使用済みプリペイドカードの収集

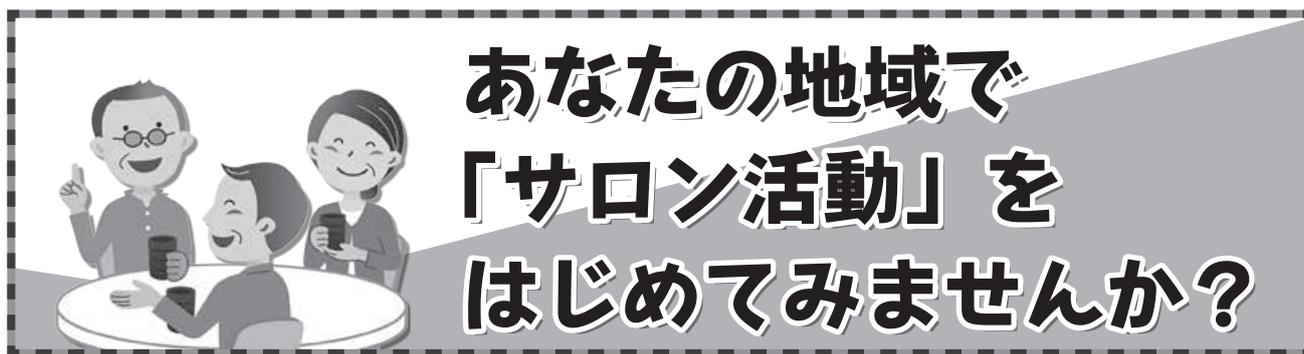
テレフォンカード、オレンジカード、ハイウェイカード、メトロカード、ふみカード、図書カード、クオカード等が対象になります。折れたり曲がったり汚れているカードや、他にも対象とならないカードもありますのでご注意ください。

### 使用済み（未使用）切手の収集

切手のまわりの余白を5ミリ～1センチ位残して切り取り、日本切手と外国切手に分けてください。

上記については、行方市社会福祉協議会でもお預かりしています。

この他にも、普段の生活の中でも取り組める身近なボランティアがありますので、お気軽にお問合わせください。



「ふれあいサロン」って どんなところ？	サロン活動をはじめるには？
<p>ふれあいサロンは、ひとり暮らしや家に閉じこもりがちな高齢者と近隣の方々との出会いの場、交流の場、仲間づくりの場です。</p>	<p>①手伝ってくれる仲間を集めよう ②日時と場所を決めよう ③サロンで何をするか考えよう ④参加者を呼びかけよう ⑤準備ができれば始めよう</p>

**「楽しく」**  
**「気軽に」**  
**「無理なく」**  
**「自由に」**

参加者一人ひとりが  
主役です。



\* 行方市社会福祉協議会ではサロンの開設、運営をサポートします。  
・ 事業費（人件費を除く）の一部を補助します ※上限あり

「サロン活動」についてご質問がありましたら、お気軽にご相談ください。

問合わせ先 地域福祉係 0299-36-2020

## 皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)

### 寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
なめがた花で彩るまちづくり会	5,000	無指定
行方ライオンズクラブ	30,000	無指定
きめこみ人形紫操会	11,000	無指定
よもぎ会	12,200	無指定
鹿行地域労福協	10,012	無指定
文化協会ダンス部	19,300	無指定
上山老人クラブ	10,000	無指定
行方生活学校	46,520	無指定
児童養護施設るんびにー	18,000	無指定
行方市建設業協議会	50,000	無指定
丸善エコアース(有)	20,908	無指定
行方市畜産まつり運営委員会	208,974	無指定
野原富美子	20,000	無指定
金山友秀	20,000	無指定
ゴスペルを歌う会	21,900	無指定
齋藤秋次	20,000	無指定
JANAめがた青年部	46,498	無指定
一条恒雄	10,000	無指定
邊田茂雄	100,000	無指定
中野孝好	20,000	無指定
茨城県立麻生高等学校生徒会	49,274	無指定
匿名	34,400	無指定

### 物品寄付

預託者名	預託品	指定先
更生保護女性会玉造支部	シクラメン1鉢	無指定
更生保護女性会麻生支部	シクラメン1鉢	無指定
桑島照代	門松1対	行方市障害者地域活動支援センター
水戸ヤクルト玉造センター麻生NS	洗濯機・プリンター	無指定
匿名	米4升	北浦地区給食サービス
匿名	梅干1kg	北浦地区給食サービス
匿名	砂糖4kg	北浦地区給食サービス
匿名	紙オムツ・車椅子・シルバーカー	無指定



茨城県立麻生高等学校生徒会



よもぎ会

### 広報委員

委員長	代々城千尋	委員	熊谷一男
副委員長	森田幸雄		渋谷節夫
委員	磯山正子		菅谷京子
	小貫敏子		新堀文江
	漢那浩子		横田照実

## 行方市善意銀行

平成28年1月1日から平成29年1月31日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。



水戸ヤクルト玉造センター 麻生NS



行方市畜産まつり運営委員会



行方市建設業協議会



行方ライオンズクラブ



文化協会ダンス部



更生保護女性会



行方生活学校

### 編集後記

昨秋頻りに報じられた「高齢者による自動車運転事故」、多くは運転操作ミスが原因と言われ、その後も続発している。我が身の先きを思うと考えさせられる。こうした事故のいくつかは病院通い等のやむ

を得ない生活の中で起きたと聞く。経済を始め多くの活動が都会に集中する中、若者は地方を離れ、地方は少子・高齢化、人口減に、公共交通機関等の地域民力は弱体化し高齢者も車だのみの生活を余儀なくされる社会となった。こうしたファクターが冒頭の問題の一因となっているとは言えないだろうか。高齢者の交通事故対策の一つとして運転免許技術査定の厳格化が言われているが、それだけでは済まない課題がそこにはあるような気がしてならない。

編集委員 熊谷一男